

令和３年度「亘理町地球温暖化対策実行計画」取組結果

亘理町は事務事業活動に伴い排出される温室効果ガスの発生を抑制するため、「亘理町地球温暖化対策実行計画」に基づき、地球温暖化対策に取り組んでいます。

令和３年度における取組の結果は以下のとおりです。

１．亘理町地球温暖化対策実行計画の概要

平成２０年度二酸化炭素排出量を基準値とし、６パーセントを削減目標としています。

対象	基準値	削減目標	目標値
二酸化炭素	4,026,003 (kg-CO2)	－６％	3,784,442 (kg-CO2)

２．計画目標の達成状況

二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	基準値	令和３年度実績	削減量	削減率
	4,026,003	2,327,745	▲ 1,698,258	▲42.18 %

温室効果ガス排出量は基準値と比較し４２．１８％減となり、目標を達成いたしました。

しかし、東日本大震災以前の基準値との比較であることから、被災し減少した施設等も含まれた基準値との比較となっています。

３．前年度との燃料別二酸化炭素排出量比較

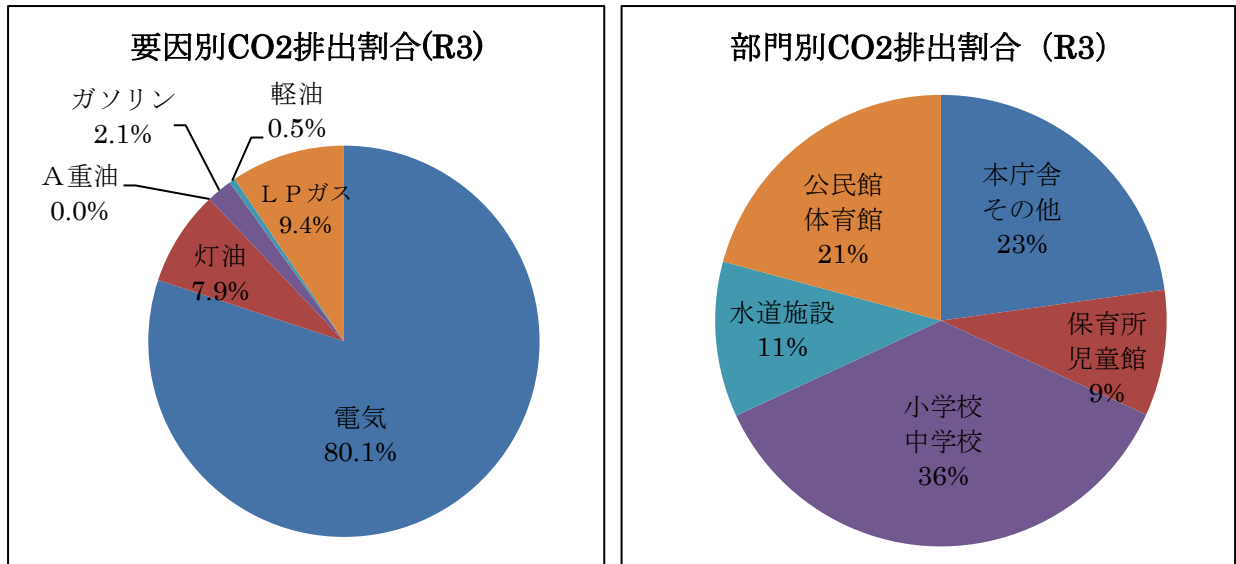
排出要因	二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			増減率
	令和２年度	令和３年度	増減	
電気	1,959,772	1,863,866	▲ 95,906	▲ 4.89 %
灯油	203,904	183,534	▲ 20,370	▲ 9.99 %
A重油	0	0	0	0 %
ガソリン	56,898	49,291	▲ 7,607	▲ 13.37 %
軽油	8,553	11,523	2,970	34.72 %
L P ガス	206,569	219,531	12,962	6.27 %
合計	2,435,696	2,327,745	▲ 107,951	▲ 4.43 %

二酸化炭素排出量の削減率が平成２０年度二酸化炭素排出量の基準値と比べ４２．１８％減となっています。また、前年度との比較では二酸化炭素排出量は４．４３％減となっています。

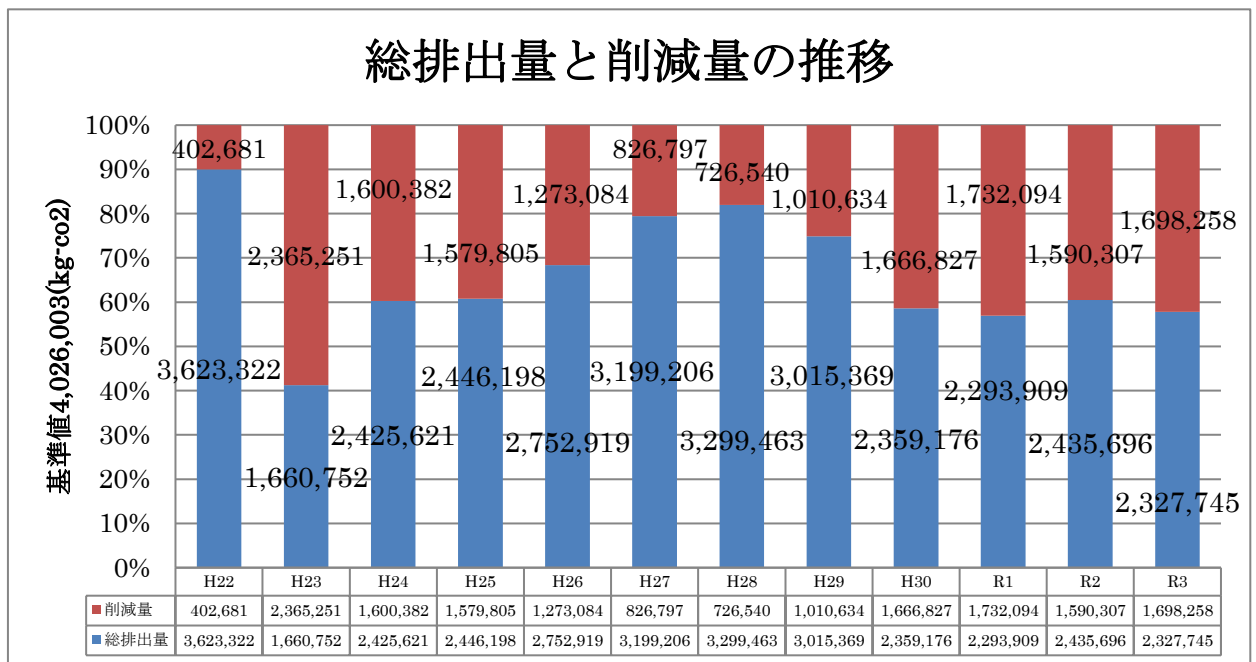
主な要因として、降水量が前年度と比較して少なく、雨水ポンプ場の稼働が減少したため電気使用量が減少したこと、電気に係る二酸化炭素排出係数(kg-CO2)が減少（０．５１９→０．４７６）による排出量減少が挙げられます。

排出要因別では、電気（８０．１％）、L P ガス（９．４％）、灯油（７．９％）の３項目で全体の約９７％となっており、各施設の職員一人ひとりが節電・省エネルギーなど環境に配慮した取組みを意識することがさらに必要と考えられます。

【部門別・要因別CO2排出割合】



【基準値を100%とした場合の二酸化炭素総排出量と削減量の推移】



【基準値に対する各年度の削減率の推移】

